

# 「何を学んでいけばいいか」

## ハンセン病について

「無知は罪!!!!!!ですね」

「差別は、誰かに非があるわけでもないのに、誰かが**差別的な見方**をすることによって、差別が生まれてしまうということが分かった。そして、その差別は、一度**根付いてしまったら**、元に戻すにはとても時間がかかるということが分かった」

日々の授業も  
**マイプロジェクト**  
自分の「学びたい」「わくわく」を大切に

「差別や偏見はよく知らないから起こることだということを知りました。何が**いけないのか**、どうして**なの**か、それを知らうとしない限り、差別はなくならないと思います。そのためにも、**もっと知らう**と努力することが大事だとも思いました」

11月9日

3時間目 **道徳**

## ハンセン病について正しい知識を知り、他の差別とつなげながら、差別や偏見について考えました

「どんな差別でも**正しく知らない**から偏見をもって起きてしまう。差別に対してはどんな理由だろうと許さないという思いが必要。病気だからといって**人権は侵害**されてよいものではない」

「長い間隔離されていた人は、出ていいよと言われても**簡単ではなかった**ことが分かった。部落差別もハンセン病問題も、**偏見を持って**しまうと差別が起こってしまう」



「日本には昔から現代まで、正当な理由なく偏見などによって、憲法で保障されているはずの「**基本的人権**」が守られていなかった人いたということが分かった。また、周りの人々もそれに**気づいていない**こともあることが分かった」

「人による差別や偏見をなくしていきたいと思いました。ハンセン病について**正しい知識**を知ることができました。今でも残る差別などをなくせるようにがんばりたいです。そして、部落差別でもいろいろな人が会ったこともない人たちのことを差別しているのも見て、とても**悲しく**なりました。なぜ知らない人たちのことを差別するのか**僕には全く分かりません**」

「ハンセン病について正しく知れました。部落差別とハンセン病の人権問題は**似ている**ところが多くあると感じました。正しい知識を知らないと**差別をする側に無意識**になってしまったり、みんなに間違っただけの知識を教えてしまいよいことが一つもないので、正しい知識を知ることが一番だと思いました。あともう一つ大切だと思ったことは、正しい知識を知っているのに、**周りに便乗**して嘘にのってしまったり、**圧力**に負けてしまうことです」

「差別をしている人たちは、本当にそうだとは思っていないから、**誰か一人が声を上げれば**それに続いて声を上げる人がいるんじゃないかなと思いました」

「自分がもし家族や友達と離れて、監獄のような刑務所のようなところに送られたら、**耐えられない**と思いました。さらにはこの病気も**ものすごい年月を通して残っていた**し、法が廃止された後もまだハンセン病の差別が残っているということは、**まだ終わる気配がない**ので、僕も何かできることがないか探して行動したいです」

正しい知識を知る。自分の**気持ち**を知る。**人権感覚**を高め、**幸せな人生**を生ききってください。

